



緑陽

財団法人同友会
 藤 沢 湘 南 台 病 院
 藤 沢 ケ ア セ ン タ ー
 藤 沢 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン
 居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー
 在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー
 ラ イ フ メ デ ィ カ ル フ ィ ッ ト ネ ス

新型インフルエンザ

藤沢湘南台病院 副院長 高橋 大介
 (院内感染対策委員長)



今回の新型インフルエンザは、流行前に国や行政機関が想定していたものよりやや病原性が低く、現在のところ「とても怖い病気」にはなっていないようです。しかし、我が国の新型インフルエンザ対策の行動指針やガイドラインが今年の初めに発表になり、これを受けて、各自自治体が体制を確立する会議などを開いている最中の4月に、新型インフルエンザがアメリカ・メキシコで発生し、5月には日本国内に入り込んでしまいました。このため、各機関での対応にやや戸惑いがあり、初期の対応がやや過剰になっていたようです。

藤沢市でも、市役所、保健所、市民病院、医師会を中心として、新型インフルエンザ診療のための体制を協議し、発熱外来を保健医療センターと市内数か所の病院に設置しました。当院でもその機能を担うことになり、通常診療の患者様と感染の疑いがあった来院された患者様の接触を避けるために、敷地内にテントを設置して対応をさせていただきました。これに伴ない、身障者用駐車場や1号館（新館）正面玄関の閉鎖など、かかりつけの患者様やインフルエンザ以外で受診された患者様、付き添いやお見舞いで来院された方々には大変なご迷惑をおかけしました。

さて、今回の新型インフルエンザで

すが、いまのところ重症化や致死率といった数字では、これまで想定されていたような強毒性（昨年アジアを中心に発生した鳥インフルエンザ、以前のSARSなど）のものではないようです。ただし、ウイルスは非常に変異（性質が変わること）しやすいことに注意をしなければなりません。

例えばタミフルというインフルエンザのお薬がありますが、一昨年はこの薬に耐性の（薬が効かない）タイプのインフルエンザはそれ程多くありませんでしたのに、昨冬流行した季節性インフルエンザA香港型は、ほとんどが耐性ウイルスでした。また、新型インフルエンザでは初めはタミフル耐性は認められなかったのですが、6月にヨーロッパと大阪で耐性ウイルスがすでに確認されています。

新型インフルエンザは、今年の秋から冬にかけて再度流行する可能性が高いと言われていますが、その時期は季節性インフルエンザの流行期と重なります。このように、すぐに性質が変わるために、再流行する時には毒性や薬の効果にも変化が現れる可能性もあります。また、通常のインフルエンザとの区別も難しくなってきました。

これからの対応としては、新型インフルエンザを闇雲に恐れて、不幸にしてかかってしまった患者様を差別視したり、感染者が出た時にやたらと学校

を休校にしたり会社を休業にしたりして、日常生活に不便を生じさせるようなことは避けなければなりません。かと言って、油断をして大流行を招いてしまってもいけません。基本的には、季節性インフルエンザと同様に、感染を予防することがもっとも大切です。

予防としてはワクチン接種がありますが、現在生産中で有効性や副作用などがまだ未知数の部分も多く、国民全体に行き渡る量を秋までに生産できるかどうか不確定です。

現実的にできる予防策としては、手洗い、うがい、咳やくしゃみをしている人から1m以上離れるようにしてウイルスの進入を防ぐことや、咳エチケット（マスクをせずに咳やくしゃみを覆つこと）やマスクの着用を励行することでウイルスを伝播させないことなどです。また、普段から規則正しい生活を十分な休養や食事を摂って、抵抗力をつけておくことなども予防策として挙げられます。

また、インフルエンザ対策の正しい情報を知り、しっかりとした準備をしておくことも大切です。妊婦さんや糖尿病の方などは新型インフルエンザにかかると重症化しやすいと言われていいます。他の慢性疾患の方なども抵抗力が弱まっていることがありますので、予防には十分に注意をしましょう。

「職場体験学習」「1日看護体験学習」にご協力ください



当院では、地元の中学校・高等学校からのご依頼を受けて、職場体験・1日看護体験学習をお受けしています。受入期間中は、ご来院・ご入院の患者さまには「随分と若い看護師さんがいる病院だなあ」と感じられると思いますが、実は医療・看護・介護に関心があつて来られた、志高い地元の生徒さんたちですので、是非温かく見守っていただければと思います。

短い学習時間ではありますが、この体験をきっかけに医療に対する関心を更に高めていただき、将来その道に進まれるかどうかは別として、看護や介護に積極的に取り組んでいただければと願っています。

(看護部)

新型インフルエンザ対策にご協力いただきありがとうございました

神戸における“海外渡航歴のない新型インフルエンザ患者発生”を受けて、5月16日から急遽1号館正面入口を閉鎖し、風除室を「特別外来診察室」に、喫煙室を「待合室」にして発生に備えました。

その後神奈川県内でも新型インフルエンザ患者が発生したため、保健所からの要請で27日から屋外にテントを張って「発熱外来」を開設しました。

これにより、患者様間の感染を防ぐため、敷地内の交通規制や出入口規制を実施することになり、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びすると共に、緊急措置にご協力をいただいたことを感謝申し上げます。

藤沢市内でも数名の新型インフルエンザ患者の発生が報告されましたが、幸いにして当院の発熱外来に来られた患者様で感染が確認された方はいらっしゃいませんでした。しかし、インフルエンザが沈静化する筈の季節を迎えても、なおあちらこちらで新型インフルエンザ患者の発生が報告されております。

このような情勢から、藤沢市内の発熱外来終了にともない1号館（新館）正面入口の閉鎖を解除しましたが、喫煙室についてはこれまでどおり発熱のため来院された患者様の「待合室」として残すことにいたしました。このため1号館の喫煙室はなくなり、喫煙は2号館喫煙室（ご利用時間：8時30分から19時まで）のみとなりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(事務部長 角田)



無料バスの運行経路・ダイヤの変更について

9月7日(月)から、無料バスの運行経路と運行時間が変更になります。

- 湘南台駅東口まで平日3便、土曜日2便を運行します。
(発着は、神奈中バス3番乗り場付近になります)
- 病院－長後駅間の便を増やします。
(長後駅の発着はすべて東口、神奈中バス2番乗り場付近に変更になります)
- 上飯田方面は、下和田経由467号線で病院に戻る経路に変更となります。

詳しくは、1 - 2号館受付・バスに置いてある新時刻表をご覧ください。
(法人事務局 加藤)



湘南台駅東口乗り場



長後駅東口乗り場

がん看護専門看護師をご存知ですか？

前回の緑陽で認定看護師をご紹介させていただきましたが、今年の4月から当院に「がん看護専門看護師」が入職しました。専門看護師も認定看護師もまだ聞きなれないかと思いますが、専門看護師になるには、

- 看護系大学院修士課程修了していること
- 日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得していること
- 実務研修が通算5年以上あり、そのうち3年以上は専門看護分野の実務研修経験があり、その間6か月は修士課程修了後の実務研修を受けること

などの規定を満たし、その上で、日本看護協会専門看護師認定審査に合格しなければなりません。

現在専門看護師は、がん看護 精神看護 地域看護 老人看護 小児看護 母性看護 慢性疾患看護 急性・重症患者看護 感染症看護 家族支援の10の分野があり、日本全国でまだ304名しかおらず、とても希少な存在です。患者様への直接的なケアはもちろんのこと、より質の高い医療・ケアを提供するためにも活躍が期待されています。どうぞよろしくお祈いします。

(副看護部長 鳴海 純子)

がん看護専門看護師 林 えり子

ごあいさつ



私は、看護師免許を取得して、初めて配属になった病棟が外科病棟でした。外科病棟で、手術療法で元気になる患者様や、手術後もがんの再発や転移の不安を抱えながら化学療法を選択される患者様、「自分の人生とは何か」を問う終末期の患者様と関わり、次第に、がんの患者様にもっと役に立ちたいと思うようになりました。

と言うのも、初めて就職した病院には、当時ではめずらしく、全国でも数人しかいない、がん看護専門看護師とリエゾン精神看護専門看護師の二人が存在し、私達をサポートしながら、多くの経験や学びを教えてくださいました。

二人のモデルナースにあって、私も先輩の様ながん看護専門看護師になりたいと思い始めるようになり、大学院に進むことにしました。現在、がん看護専門看護師になって満4年が過ぎようとしています。

今年の4月から財団法人同友会に入職し、藤沢湘南台病院で日々がん患者様が遭遇する「診断期」「治療期」「再発期」「終末期」など、患者様の様々な段階を支える看護師や医療スタッフと、ケアについて考える機会を持つようになりました。がん看護専門看護師の役割は、患者様のケアをする看護師や医療スタッフのサポートだけに止まりません。がん医療に関わる患者様や家族の方々が、安心して治療やケアが受けられるために、時には看護実践、医療者からの相談、チーム医療の中で他職種と協働を目指した調整活動、倫理調整、教育、研究活動の6つの役割を果たす必要があります。

当院において、私は病棟・外来といった部署に配置されるのではなく、病院内を横断的に活動できるようなポジションで活動していきます。特に、化学療法・緩和ケアを受ける患者様を対象とした、身体的・精神的・社会的苦痛の緩和を目的とした「サポータティブケア」をモットーとし、看護師だけでなく医師や医療スタッフからのコンサルテーションや、がん医療に関する院内・院外の教育活動を行うことでより質の高い看護の提供を目指しています。どうぞ、よろしくお祈いします。



外来診療予定表

平成21年 8月現在

科目	月	火	水	木	金	土		
内科	午前	消化器科	中山 山本 新海	藤田 松田(香)	高橋副院長 松田(玲)	藤田 松田(香)	松田(玲) 新海	高橋副院長 山本
		循環器科	泰磨	中丸	武居 石川	石川 住田	中丸	武居 泰磨
	午後	消化器科 【予約のみ】	中山	山本 新海	●	高橋副院長 荒井	藤田	●
		循環器科 【予約のみ】	武居	●	泰磨	中丸	武居 石川	●

科目	月	火	水	木	金	土	
泌尿器科	午前	諏訪	諏訪	船橋	諏訪	船橋	諏訪又は船橋 隔週
	午後	手術	船橋	船橋	諏訪	検査 手術	●
眼科	午前	仙田	竹内	堀 上石	上石	仙田	上石又は佐藤 隔週
	午後	堀	鈴木	堀 上石	上石	仙田	●
皮膚科	午前	小岩	松岡	小岩	小岩	小岩	小岩 第2・4週休診
	午後	●	松岡	●	●	小岩	●

科目	月	火	水	木	金	土		
外科	午前	一般外科	田村副院長 白井	深野副院長 熊切	田村副院長	鈴木院長 深野副院長	原田	鈴木院長 田村副院長 白井
		大腸肛門科	●	●	●	鈴木院長	●	鈴木院長
		内視鏡外来	田村副院長	●	田村副院長	●	原田	田村副院長
		甲状腺外来	●	●	●	●	佐々木	●

科目	月	火	水	木	金	土	
整形外科	午前	齊藤副院長 川口 小嶋 星加	川口 高森 中川	齊藤副院長 大山 高森 星加又は中川	大山 中川 小嶋	棚橋 川口 小嶋 星加	齊藤副院長 担当医

健康スポーツ部	月	火	水	木	金	土	
*初予 診予約も制	午前	●	福田	●	●	福田	川口
	午後	●	齊藤副院長 福田	齊藤副院長	●	齊藤副院長 福田 川口	●

ペインクリニック	月	火	水	木	金	土
午前	大木	大木	●	大木	●	渡邊

■ 枠の診療は完全予約制です。 〇は休診です。

内科・外科・整形外科・泌尿器科の午後は専門外来（完全予約制）となりますので、一般外来は休診となります。

平成21年4月1日より皮膚科、土曜日（第1・3・5週）のみ診察を行います。土曜日の眼科診察、上石（第1・3・5週）、佐藤（第2・4週）が外来日となります。

受付時間

月曜日～金曜日 午前 8:30～11:00（診療開始 9:00）
午後 12:00～3:00（診療開始 1:30）

土曜日 午前 8:30～11:00（診療開始 9:00）

* 土曜日午後・日曜・祝祭日・年末年始は**全科休診**です。

形成外科	月	火	水	木	金	土
午前	廣富	有村	廣富	●	●	廣富

脳神経外科	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	吉田	●	●	●
午後	吉田	数野 第2・4週休診	●	吉田	市川 第1・3・5週休診	●

お知らせ

入退院センター設置及び入院医療費請求方法の変更について

平成21年6月から、従来1号館にあった「入退院窓口」を2号館入口付近に移転し、名称を「入退院センター」といたしました。これまでの入退院窓口は狭く、入院説明や入院医療費の精算をさせていただく際に、いろいろご不便やご迷惑をおかけいたしました。今後「入退院センター」では、窓口混雑の際はセンター前の待合椅子でお待ち願ひ、順番に説明や精算をさせていただくようになります。



また、当院は平成21年7月1日より「診断群分類包括評価（DPC）」方式による医療費の請求を実施する病院として厚生労働省の認定を受けました。今後の入院医療費は、DPC制度による「診断群分類」を用いた計算方法となります。

従来は投薬、注射、処置、手術、検査、レントゲン等のすべての診療行為を積み上げて計算する「出来高払い方式」でしたが、「DPC方式」では患者様の病名や症状、手術（処置）の内容、及び合併する病気の有無などによって、厚生労働省が定めた1日あたりの包括診療費により計算をいたします。なお、医療の内容及び診療方針については、今までと何ら変わる事はございません。

また、これまでには月に2回（15日、末日締め）入院医療費を請求させていただいておりましたが、今回のDPC導入により月に1回（末日締め）の請求（退院時は退院日）に変更させていただきます。

以上、皆様のご理解とご協力の程をよろしくお願ひいたします。ご質問等がございましたら入退院センターまでお問い合わせください。

発行者：財団法人同友会（藤沢湘南台病院）

〒252-0802 藤沢市高倉2345 TEL：0466-44-1451 URL：http://www.fj-shonandai.jp/